

① 全国統一指標・地域独自指標の目標達成に向けた取り組み

現指標は令和6年度が最終年度

【取り組み内容】

◆ 発注関係事務相談キャラバン(2巡目)の実施

- ・ 2巡目は、「施工時期の平準化」(「さしすせそ」の活用)の更なる推進を図ることを重点的に実施。
- ・ 令和6年度は、概ね人口3~5万人、人口~3万人の自治体を対象として訪問予定(継続)。

② 適切な工期設定

【取り組み内容】

◆ 週休2日工事の浸透・定着

- ・ 週休2日工事への取り組み状況は、実施の有無から実施割合(週休2日対象工事件数/全工事件数)へ変更して調査を実施(令和5年度実績より)。
- ・ 地域独自指標の変更(または追加)として実施し、目標値は「R6実績:1.00」とする。

◆ 「統一的な現場閉所」(第7弾)による週休2日の促進

- ・ 年間を通じて毎週土曜日・日曜日を対象(現場条件等から実施が困難な場合は「4週8休」を確保)。

③ 「発注見通しの統合」の活用推進

【取り組み内容】

◆ 発注見通し(統合版)の利用促進に向けた対策(更なる認知度及び利便性の向上)

- ・ 「公表基準日」を各月15日、30日に設定して公表(四半期ごとの当該月に各2回。工事及び業務)。

◆ 中長期発注見通し統合の促進

- ・ 市町村への公表拡大。公表が可能な機関から段階的に実施。